

K-2:スキルプログラム専門委員会

開催日時・会場 9月15日(水曜日) 9:00-10:30 WEB-ONLY

外部資金獲得支援における情報の 収集、分析、伝達と活用

本セッションは、RA協議会スキルプログラム専門委員会が提供する教育セッションです。主に着任2~3年以内のURAを対象とします。

外部資金獲得支援はURAの重要な業務の一つです。この業務の遂行に欠かせないのは関連情報の収集・分析・活用能力です。孫子いわく「情報を制する者は戦いを制す」。外部資金獲得支援のためのアクションを選択するにあたり、

- どのような情報に立脚するか、
- 種々の外部資金および関連情報をどのように的確に収集・分析するか、
- これらの情報をいつ、誰に、どのように伝えるか、
- どのように、研究者や研究活動の情報を収集・分析・蓄積するか、
- URAの支援活動情報をどのように蓄積・活用するか。

これらは、外部資金獲得を「制す」ために重要と考えられます。このような外部資金獲得支援関連情報の収集、分析、伝達、活用の基礎知識とスキルを習得する機会を提供することが本セッションの目的です。

本セッションでは、研究支援現場で活躍している3名のURAが、活動実例を提示しながら、以下の内容を説明する予定です。

1. 国、ファンディング・エージェンシー等が募集する補助金・委託事業等の外部資金関連情報を、策定段階から収集・分析する方法、研究者・研究関連情報を収集・分析する方法、適切な研究分野・経験を持つ研究者に情報を伝達する方法、URAの外部資金獲得支援情報の蓄積・活用する方法等の俯瞰的な説明。
2. 人文社会系の研究関連情報の収集・活用、文理融合による総合知の創出を目指した情報収集及び支援活動等。
3. AMED事業における情報の利活用と研究支援活動。

オーガナイザー



王 鴻香:長崎大学・研究開発推進機構・主任URA

北京大学化学系卒。同大学院修了。理学博士。2014年4月にURAへ転身するまでの20年以上、日本の大学、研究所や企業で新規無機材料の合成や吸着装置の開発を続けていました。現在、大学の研究戦略立案支援、外部資金獲得支援、研究力分析、異分野連携支援等幅広く活動中。

講演者



丸山 浩平: 早稲田大学・研究戦略センター・教授

JUKI (株)にて産業用機械のR&D、技術戦略企画、新規事業開発等を担当した後、早稲田大学でバイオセンシング研究に従事。2009年から同大学研究戦略センター（URA組織）の立上げに参画し、その後も複数の大学でURA活動に従事。JST・CRDS特任フェロー兼務。専門は技術戦略企画、計測学など。URAの組織的、計画的な外部資金獲得支援について、皆さまと考えていければと思っています。



川人 よし恵: 大阪大学・経営企画オフィスURA部門・チーフ・リサーチ・アドミニストレーター

民間企業で行政広報やまちづくり等の業務に携わった後、2010年4月より大阪大学において研究と社会をつなぐ業務等に従事。現在はURAとして、主に外部資金獲得支援や、若手研究者支援業務、人社系と自然科学系の連携促進関連業務などを担当。2018年10月より、社会ソリューションイニシアティブ（SSI）企画調整室兼任。京都大学文学部卒業、大阪大学工学研究科博士後期課程単位取得退学。



玉村 好司: 東京医科歯科大学・リサーチ・ユニバーシティ推進機構・リーダーURA、特任准教授

早稲田大学大学院理工学研究科修了。ソニー（株）にて化合物半導体結晶成長、半導体レーザーの研究開発に従事。2014年より東京医科歯科大学リサーチ・ユニバーシティ推進機構URA室。研究力強化プランチにて研究力分析・研究費獲得支援・広報・研究者支援の多くの取組に関して活動している。